

平成20年度再評価

16. 路線名: 主要地方道 佐賀脊振線

事業名: 地方特定道路整備事業

主要地方道 佐賀脊振線 位置図



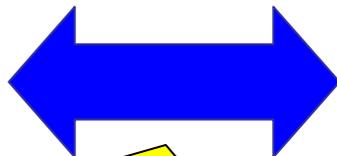
至 鳥栖

至 武雄

主要地方道 佐賀脊振線
全体計画 L = 580m

事業目的

佐賀市



神崎市脊振町

交流を支えるため
重要な道路

また、兵庫小
学校の通学路

しかし、現道は…

幅員が狭いことから、車や自転車歩行者の通行に支障

よって、改良により

交通の円滑化と交通安全を確保
生活圈間の交流を支える

現道状況

幅員狭小状況



幅員狭小状況



混雑状況



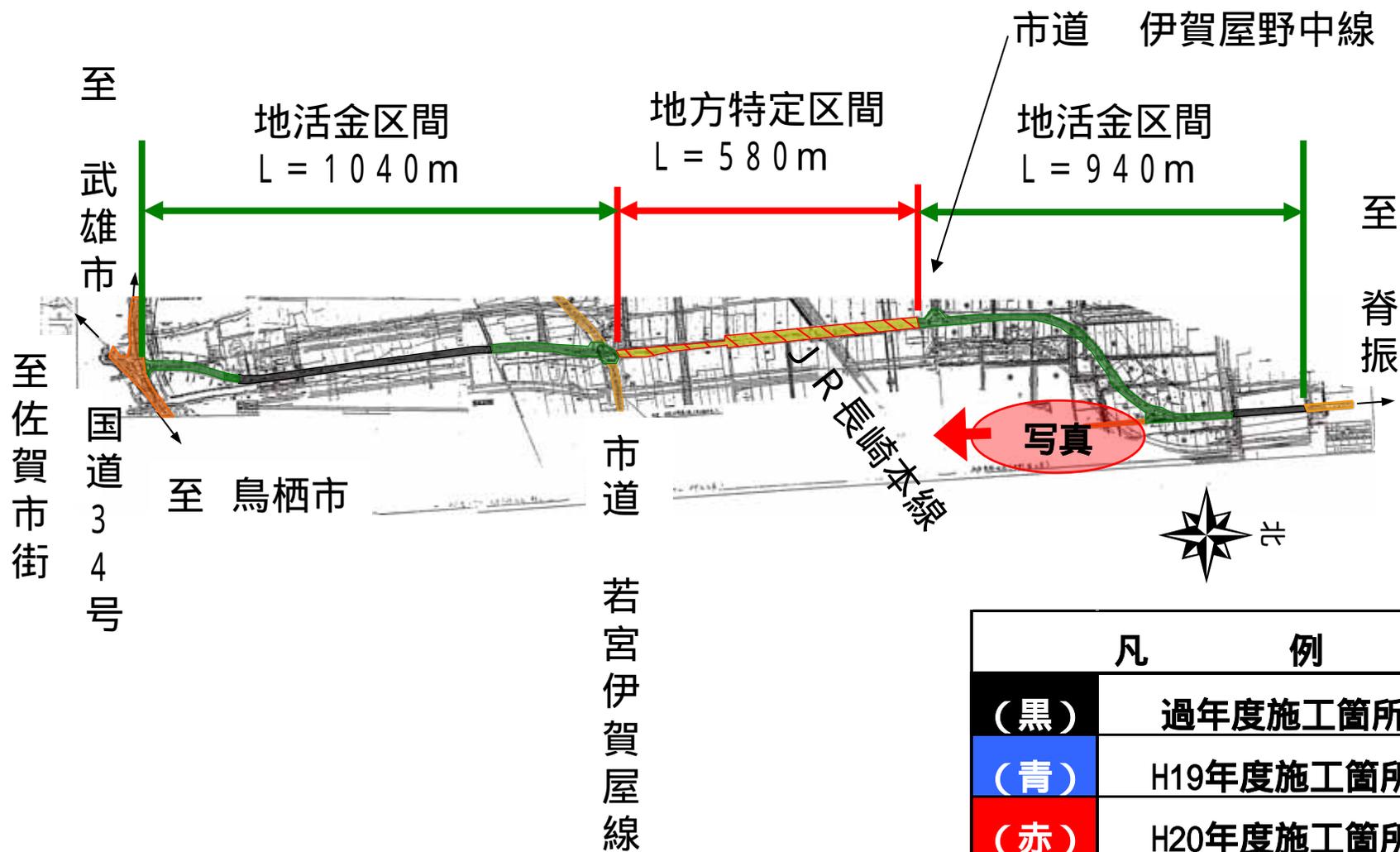
歩道未整備箇所の歩行者が危険な状況



事業概要

- 全体事業費：29億円
- 工期：平成8年度～平成24年度(予定)
- 全体延長： $L = 580\text{ m}$
- 事業内容：改良工 $L = 580\text{ m}$
用地買収 $11,000\text{ m}^2$

主要地方道 佐賀脊振線 平面図



| 凡 例 | |
|-----|-----------|
| (黒) | 過年度施工箇所 |
| (青) | H19年度施工箇所 |
| (赤) | H20年度施工箇所 |
| (黄) | 次年度以降施工箇所 |

事業の進捗状況

| | 平成19 年度まで | 平成20 年度 | 平成21 年度以降 |
|----------|--------------|------------|--------------|
| 事業費(億円) | 7.1 | 0.3 | 20.8 |
| 進捗率(%) | 25.2 | 28.3 | 100.0 |
| 用地進捗率(%) | 0.0 | 100.0 | 100.0 |

- 用地買収は、今年度に入り、全て契約済みである。

バイパス区間



現道区間



事業の効果

- 【便益】

| | | |
|----------|---|--------|
| 走行時間短縮便益 | = | 36.9億円 |
| 走行経費縮小便益 | = | -4.0億円 |
| 交通事故減少便益 | = | -0.7億円 |
| 合計 | | 32.2億円 |

- 【費用】

| | | |
|-------|---|--------|
| 事業費 | = | 29.9億円 |
| 維持管理費 | = | 0.7億円 |
| 合計 | | 30.6億円 |

- 再評価時費用便益比 = $32.2 / 30.6 = 1.1$

今後の対応

- 久保泉工業団地へ小糸九州(株)が進出し(平成17年)、下和泉地区へ新たな工業団地の造成計画があり、交通量の増大が予想される。
- 当該箇所については、依然として事業効果が発揮出来ておらず、危険な状況が解消されていないため、事業を継続し、交通の円滑化と交通安全の確保を図る。